2021/4/4
（うと Q 世話し やっぱり前の記事「突っ込まれたぁ」ので、いささか付言）
前の記事で「AI よりも人本主義」みたいなこと書きましたら、
「時代遅れも甚だしい」
「アナログじじぃは引っ込んでいろ!!」
「老害をまき散らすな!!」
と大変な突っ込みを入れられました。
「であろう」とは思っていたのですが、矢張り言葉足らずでした。
で、今少し言葉を足さして戴きますと
「デジタルや DX(Digital transformation=デジタルによる大改革)や AI を自己目的化していませんか？デジタルや DX や AI は、あくまでも手段、道具であって、目的でも何でもありませんよ。最後には、それらにのみ決まれ、使われる人間ではなく、それらを道具として使いこなせるようにならないと大変なことになりますよ。それを選択、制御できるのは、ひとが「ちゃんとした人」になる事意外にはないのではないでしょうか？」
といいたかったのを「人本主義」という古めかしい言葉を使って端折ってしまったが為に、お読みになられた方々に、全く異なったイメージを想起させてしまった、という「大ミス」でした。
大変失礼を致しました。
今一度、ご確認をお願い申し上げます。
（近況・余計な追記）
先ほど、ほぼ３日間、半徹して、２０２０年会計年度の決算書を仕上げました。見てみて唖然としたのですが、カリー屋を開業以来この３年間の累積赤字がほぼ累積売上と同額。
大半は、ほぼ全ての私財の売却と金融機関からの私人としての借入れで賄ってきましたが、最早限度、の待ったなし。
（自宅本社の中を見渡すと、向こうに地平線が見えるかの如く、遮る家財なく、ひろびろとした平原のような状態になっている我が家兼本社でございます）
今年度は是が非でも浮上しないと、もう後がありません。
出来ない場合は
「それではみなさん、お達者でぇ」
という事のなりそうで、怖いです。
ですが、そうなると従業員にも迷惑が掛りますので、なんとしても避ける所存でございます。